

科目名		領域横断	単位(時間)	7単位 175時間
担当講師名		専任教員 他	DP	1・2・3・4
科目設定理由		人間の一生の視点で切れ目のない対象の理解から、看護への思考が学べるように専門分野の各専門領域から共通する6項目を抽出し、領域横断科目として設定した。 ライフサイクルの視点で人間をとらえ、それぞれの発達段階と発達課題について連続性をもって学ぶことができるようにライフサイクルと看護を設定した。 また、健康状態の経過に応じた看護を発達段階の特徴を踏まえながら学ぶことができるように健康回復を支える看護、周手術期看護、終末期と看護を設定した。 薬物療法と看護では、薬物の効果に対する対象の特殊性を学ぶとともに、安全・安楽に薬物療法を実施するための看護を学ぶ。 思考過程論では、専門基礎分野の知識や看護の展開技術で学んだことを基盤とし、発達段階や対象に応じた看護を理論に基づいて学ぶ。		
科目構成	科目名	ライフサイクルと看護	健康回復を支える看護	周手術期看護
	単位時間	1単位30時間	1単位15時間	1単位30時間
	履修時期	31期生 1年次前期	31期生 1年次後期	30期生 2年次前期
	学習範囲	1 ライフサイクルと発達課題 2 健康支援の方法 3 子どもの理解と看護 4 成人の理解と看護 5 高齢者の理解と看護 6 女性のライフサイクル 7 親になる人の理解と看護 8 家族の理解と看護	1 各期の特徴 2 急性期の看護 3 慢性期の看護 4 事例に応じた看護を考える	1 周手術期看護の概論 2 手術前看護 3 手術中の看護 4 手術後の看護 5 精神疾患のある患者の手術看護 6 小児期の手術看護 7 高齢者の手術看護 8 帝王切開を受ける産婦の看護
	科目名	終末期の看護	薬物療法と看護	思考過程論
	単位時間	1単位30時間	1 単位20時間	2単位50時間
	履修時期	30期生 2年次後期	30期生 2年次前期	30期生 2年次後期
	学習範囲	1 終末期看護の特徴 2 ライフサイクル各期の対象者への看護 3 死の受容過程と看護 4 苦痛を和らげる日常生活の援助 5 臨死期のケア 6 人生の最期のときを支える看護	1 看護実践に生かす臨床薬理 2 対象に合わせた薬物療法と看護	1 在宅療養者への看護 2 成人期にある対象への看護 3 高齢者への看護 4 子どもと家族への看護 5 産褥期にある対象への看護 6 精神を病む人への看護